

医療機能実態調査項目一覧（案）

※1 現時点の設問数 病院77問 診療所61問 歯科診療所17問（前回調査時：病院131問 診療所93問 歯科診療所29問）

※2 病院票・・・病 診療所票・・・診 歯科診療所・・・歯科

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
がん医療					
1	がん医療で対応している内容	次期保健医療計画及びがん対策推進計画におけるがん医療提供体制のあり方の検討資料とするため、緩和ケアの充足状況や提供に係る課題等を把握する。	病院・診療所	新規	—
2	緩和ケアで入院を申し込んだ患者が実際に入院できている割合		病院	新規	—
3	在宅緩和ケアの対応		病院・診療所	病院のみ既存 診療所新規	病 Q18
4	緩和ケアを実施していない理由		病院・診療所	病院のみ既存 診療所新規	病 Q20
5	緩和ケア医療に関する今後の予定		病院・診療所	病院のみ既存 診療所新規	病 Q21
6	「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針に準拠した緩和ケア研修会」の受講状況		病院・診療所	新規	—
7	院内がん登録の実施		がん登録の推進のための検討資料とするため、院内がん登録の取組状況を把握する。	病院	既存
脳卒中医療					
8	脳卒中急性期患者を受入れる専用病棟等の設置状況	脳卒中急性期患者の治療ができる医療機関を「東京都脳卒中急性期医療機関」と認定して搬送体制を整備している。また、近年有効性が認められている脳血管内手術を含めた搬送体制の検討を進めており、各医療機関の脳卒中医療提供体制の実態を把握し、脳卒中救急搬送体制の検討に活用する。	病院	既存	病 Q24
9	脳卒中の治療方法の実施状況		病院	既存	病 Q26
急性心筋梗塞					
10	急性心筋梗塞の治療方法の実施状況	急性心筋梗塞に対する医療体制を把握する。	病院	既存	病 Q33

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
11	入院患者のうち、入院期間中にリハビリテーション医療を実施している患者の数 (算定したリハビリテーション料の種類別)	心大血管疾患におけるリハビリテーション医療の実態を把握する。	病院	既存	病 Q112
12	リハビリテーション医療を実施した外来患者数 (算定したリハビリテーション料の種類別)	心大血管疾患におけるリハビリテーション医療の実態を把握する。	病院	既存	病 Q113
糖尿病医療					
13	1日の平均糖尿病患者数	都民の誰もが身近な地域で最適な糖尿病治療を受けられ、重症化・合併症を予防できる糖尿病医療連携体制を推進しており、各医療機関の糖尿病医療連携の取組状況を把握し、より一層の糖尿病医療連携の充実に向けた資料とする。	病院・診療所	既存	病診 Q35 Q72
14	糖尿病診療スタッフの配置状況 (糖尿病療養指導士等)		病院・診療所	既存	病診 Q39 Q75
15	糖尿病の診療に際して、他の医療機関との連携の有無		病院・診療所	既存	病診 Q40 Q76
16	糖尿病の医療連携における立場 (かかりつけ医等)		病院・診療所	既存	病診 Q41 Q77
17	連携先の医療機関の形態 (病院、診療所等)		病院・診療所	既存	病診 Q42 Q78
18	糖尿病の医療連携を取っている医療機関が所在する区市町村番号		診療所	既存	診 Q79
19	具体的な連携の形態 (連携パス、研究会等)		病院・診療所	既存	病診 Q43 Q80
20	連携パスや連携手帳の使用の有無		病院・診療所	新規	病診 Q44 Q81
21	糖尿病の医療連携を行っていない理由		病院・診療所	既存	病診 Q45 Q82
22	糖尿病指導の実施状況		糖尿病による合併症を発症する人の減少に向け、医療機関における取組を把握する。	病院・診療所	既存

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
精神疾患					
23	精神保健指定医の指定を受けている医師の従事者数（常勤・非常勤） 日本精神神経学会認定の精神科専門医資格を持っている医師の従事者数（常勤・非常勤） 精神保健福祉士の従事者数（常勤・非常勤）	都内医療機関における精神保健指定医及び日本精神神経学会認定の精神科専門医資格を有している常勤・非常勤別の人数の現状を把握するとともに、前回調査と比較して、今後の施策への参考とする。 精神保健福祉士については、医療と福祉の連携体制を整備する役割が期待されており、精神保健福祉士配置を促進するための事業を実施している。前回調査と比較することで、事業の評価や今後の事業展開への参考とする。	病院・診療所	既存	病診 Q4 Q9
24	精神病床の使用許可病床数、病床利用率、平均在院日数	精神障害者地域移行体制整備支援事業や早期退院支援事業を実施し、退院支援や生活面の支援の体制整備を図り、精神障害者の地域移行・地域定着を推進している。前回調査と比較することで、事業の評価や今後の事業展開への参考とする。	病院	既存	病 Q6
25	精神科医療関連の標榜状況、入院受入れ可否、医師数	都内医療機関の専門的対応の状況を定期的に把握することで、今後の事業展開への参考とする。	病院・診療所	既存	病診 Q46 Q10
26	【精神科を標榜している医療機関を対象】 分野別の専門的対応の状況又は専門外来の設置の有無	精神疾患患者が地域での医療支援を適時・適切に受けられる仕組みを都全域で構築するため、精神疾患に関する地域連携体制整備を図る事業を実施しており、精神科病院と一般診療科間の紹介等を推進している。前回調査と比較することで、事業の評価や今後の事業展開への参考とする。	病院	既存	病診 Q47 Q11
27	【精神科を標榜していない医療機関を対象】 精神症状のある患者への精神科医療機関の紹介の状況		病院	既存	病診 Q48 Q12
28	精神身体合併症への対応の状況（身体症状のみ診る等）	精神身体合併症医療は、一般救急と精神科医療の連携体制の充実等に向けた取組を実施しているが、次期保健医療計画の策定に向けて、これまでの事業の取組による成果や進捗状況等の現状を把握するとともに、精神身体合併症医療のあり方を検討して、今後の施策へ反映させる。	病院・診療所	既存	病診 Q51 Q15
29	身体合併症への対応の可否		病院	新規	—
30	身体合併症の課題と思うもの		病院	新規	—

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
31	入院患者における高次脳機能障害者へのリハビリテーションの実施状況	都内医療機関における高次脳機能障害者へのリハビリテーション取組み状況を定期的に把握するとともに、前回調査時と比較することで、今後の施策への参考とする。	病院・診療所	既存	病 診 Q53 Q17
32	外来患者における高次脳機能障害者へのリハビリテーションを実施状況		病院・診療所	既存	病 診 Q54 Q18
災害医療					
34	災害対策（または防災）マニュアルの策定状況	病院（特に災害医療支援病院）や診療所の策定状況の把握と5年前との比較を行う。	病院・診療所	既存	病 診 Q73 Q25
35	震災時の医療従事者の派遣先	専門的医療を行わない診療所の医療従事者が、区市町村地域防災計画に定める活動場所がどこなのか調査し、震災時の医療提供体制を把握する。	診療所	既存	診 Q32
36	事業継続計画（BCP）の策定状況	様々な機会を通じて病院に対してBCP策定の働きかけを行っており、病院（特に災害医療支援病院）の策定状況の把握と5年前との比較を行う。	病院	既存	病 Q74
37	震災時を想定した防災訓練の実施頻度	医療従事者の防災行動力・防災意識の向上について確認するため、病院（特に災害医療支援病院）や診療所の実施状況の把握と5年前との比較を行う。	病院・診療所	既存	病 診 Q75 Q26
38	夜間に震災が発生した時の診療体制を組むまでの時間	従業員が不足となる夜間の発災時における、東京都全体の傷病者受入体制の実態について把握する。	病院・診療所	既存	病 診 Q79 Q30
39	震災時の傷病者の受け入れ可能数	震災時、病院は備蓄している簡易ベット等を活用し、傷病者をどのくらい受け入れることができるかを把握する。	病院	既存	病 Q83
40	食料の備蓄状況（職員及び患者分）	災害拠点病院等は3日以上を備蓄するよう要綱で定めているが、実際病院がどの程度の備蓄をしているのかを把握する。	病院	既存	病 Q85
41	飲料水の備蓄状況（職員及び患者分）	災害拠点病院等は3日以上を備蓄するよう要綱で定めているが、実際病院がどの程度の備蓄をしているのかを把握する。	病院	既存	病 Q86
42	ライフライン（電気・ガス・水道）が3日以降断たれた場合の対応状況	災害拠点病院について自家発電機の保有と3日分の燃料の確保、災害拠点連携病院について自家発電の保有等を求めており、実際病院がどの程度の備蓄をしているのかを把握する。	病院	既存	病 Q87
43	震災時の専門的医療を行う診療所数の把握	専門的医療を行う診療所数（救急告示医療機関、透析医療機関、産科及び有床診療所）を調査し、各圏域の震災時の医療提供体制を把握する。	診療所	新規	—

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
へき地医療					
44	へき地医療機関への継続的な医師派遣の意向の有無	へき地勤務医師等確保事業、またはへき地専門医療確保事業への都内医療機関の協力の意向を把握する。	病院	新規	—
45	へき地における専門的・個別的診療科への短期医師派遣の意向の有無		病院・診療所	新規	—
周産期医療					
46	日本産科婦人科学会認定の産婦人科専門医資格を持っている医師の従事者数（常勤・非常勤）	前回調査と比較することで、周産期医療における人材育成及び支援についての課題を明らかにするとともに、施策の方向性を明らかにするため、都内の医療機関における産科及び新生児部門の常勤・非常勤別の各専門医の人数の現状を把握する。	病院	既存	病 Q4
47	日本周産期・新生児医学会認定の周産期（母体・胎児）専門医資格を持っている医師の従事者数（常勤・非常勤）		病院	既存	病 Q4
48	日本周産期・新生児医学会認定の周産期（新生児）専門医資格を持っている医師の従事者数（常勤・非常勤）		病院	既存	病 Q4
在宅療養					
49	往診の対応・実施状況	在宅医療に関する医療資源や取組状況を把握し、取組の評価及び今後の在宅療養の推進に向けた検討に活用する。 また、区市町村における取組の推進に向け、調査結果を情報提供する。	病院	既存	病 Q91
50	往診に対応できる時間帯		病院	既存	病 Q92
51	訪問診療の対応・実施状況		病院	既存	病 Q93
52	診療の実施状況（往診、訪問診療の対応・実施状況含む）		診療所	既存	診 Q54
53	訪問診療を実施していない理由		診療所	既存	診 Q55
54	訪問診療を担当する医療従事者等の人数		病院・診療所	既存	病 Q94 診 Q56
55	訪問診療の実施時間		診療所	既存	診 Q57
56	訪問診療を行った患者の実人数		病院・診療所	既存	病 Q95 診 Q58
57	訪問診療で対応可能な医療行為 ※「緩和ケア」、「小児在宅」及び「小児がん」の項目を追加		病院・診療所	既存	病 Q96 診 Q59
58	訪問診療での対応可能範囲（区市町村）		診療所	既存	診 Q60
59	訪問診療での地理的対応基準（km）		診療所	既存	診 Q61

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
60	1か月間の休日夜間の患者家族からの連絡対応件数	在宅医療に関する医療資源や取組状況を把握し、取組の評価及び今後の在宅療養の推進に向けた検討に活用する。 また、区市町村における取組の推進に向け、調査結果を情報提供する。	診療所	既存	診 Q62
61	過去1年間の緊急入院が必要となったケースの状況		診療所	既存	診 Q63
62	在宅療養支援病院の届出状況 ※ 予定も含めて把握する。		病院	既存	病 Q102
63	夏休みや年末年始の対応の工夫		診療所	既存	診 Q66
64	在宅療養支援診療所の届出状況 ※ 予定も含めて把握する。		診療所	既存	診 Q68
65	在宅療養支援診療所を届け出ない理由		診療所	既存	診 Q70
66	過去1年間の看取り数	看取りの実施状況を定期的に把握し、今後の施策の検討に活用する。 また、平成28年度に立ち上げた新規事業についての施策の評価に活用する。	診療所	既存	診 Q69
67	看取りの実施状況		診療所	新規	—
68	看取りを実施していない理由		診療所	新規	—
69	在宅療養患者への後方支援（病状変化時等の対応・レスパイト入院への対応）	入院医療機関における在宅療養患者への支援や、退院時の入院医療機関と地域との連携状況を把握し、都の施策の評価と今後の施策の検討に活用する。	病院	既存	病 Q98
70	(有床診)病状変化時等の入院の受入れ状況		診療所	既存	診 Q64
71	在宅医療を充実させるために、最も必要だと思うもの	在宅療養推進のために必要とされている取組を把握し、今後の施策の検討に活用する。	病院・診療所	既存	病 診 Q103 Q71
72	患者の受入れ体制（部署の設置等）	入院医療機関と地域との連携状況を定期的に把握し、前回調査との比較による施策の評価や今後の施策の検討に活用する。	病院	既存	病 Q104
73	患者の受入れを担当する専従者の人数		病院	既存	病 Q105
74	患者を紹介した医師との相互連携の実施状況		病院	既存	病 Q106
75	診療所との連携体制		病院	既存	病 Q107
76	病状変化時等の入院の受入れ依頼等連携している病院等の箇所数及び所在区市町村		診療所	既存	診 Q65

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
77	ひまわりの医療関係者メニューの使用状況	ひまわりの活用状況を把握するとともに、利用方法等のニーズをとらえ、今後のシステム改修等に反映させる。	病院・診療所	既存	病 診 Q126 Q49
78	ひまわりの医療関係者メニューの充実させるべき項目		病院・診療所	既存	病 診 Q127 Q50
79	がん医療で対応している内容	在宅におけるがん医療について、現状を把握し今後の施策の検討に活用する。	病院・診療所	新規	再掲 (No.1参照)
80	在宅緩和ケアの対応		病院・診療所	病院のみ既存 診療所新規	病 診 Q18 再掲 (No.3参照)
81	緩和ケアを実施していない理由		病院・診療所	病院のみ既存 診療所新規	病 診 Q20 再掲 (No.4参照)
82	緩和ケア医療に関する今後の予定（緩和ケアの実施に関する今後の予定）		病院・診療所	病院のみ既存 診療所新規	病 診 Q21 再掲 (No.5参照)
85	小児等在宅医療の訪問診療のうち、対応可能な医療行為		医療的ケアを必要とする小児等について、対応できる医療資源等の実態を把握し、今後の施策の検討に活用する。	診療所	新規
86	小児等在宅医療を実施していない理由	診療所		新規	—
87	小児等在宅医療の実施に関する今後の予定	診療所		新規	—
88	退院前の合同カンファレンス（退院時共同指導）の実施状況	入院医療機関における在宅療養患者への支援や、退院時の入院医療機関と地域との連携状況を把握し、都の施策の評価と今後の施策の検討に活用する。	病院	既存	病 診 Q99
89	病院での退院前合同カンファレンスへの出席状況		診療所	既存	診 Q67
健康づくり					
90	保健事業の実施状況	糖尿病や循環器疾患の分野において、特定健診・特定保健指導の実施率の向上を図るに当たって、病院がどのように関わっているのかを把握する。	病院	既存	病 診 Q131

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
リハビリテーション医療					
91	リハビリテーションが必要な患者のために専用で確保している病床数	都内の回復期リハビリテーション病棟の数は増加傾向にあるものの、未だ全国平均と比較し少ないため、今後も増床への取組が必要であり、病床数やリハビリ専門職数の現状を把握し、今後の施策の推進へ向けた資料とする。	病院	既存	病 Q109
92	医師以外のリハビリテーション医療従事者		病院・診療所	既存	病 診 Q111 Q93
93	入院患者のうち、入院期間中にリハビリテーション医療を実施している患者の数 (算定したリハビリテーション料の種類別)	高齢者や障害者が寝たきり状態になることを予防し、地域で生涯にわたって生き生きとした生活を送るためには、急性期・回復期・維持期を通じて切れ目なくそれぞれの状態に応じた適切なリハビリテーションを受けることが必要である。各医療機関のリハビリテーション提供の実施状況を把握し、各リハビリテーション期を担う医療機関の支援へ向けた資料とする。	病院	既存	病 Q112 再掲 (No. 11参照)
94	リハビリテーション医療を実施した外来患者数 (算定したリハビリテーション料の種類別)		病院	既存	病 Q113 再掲 (No. 12参照)
95	リハビリテーション医療を今後充実させたい考えの有無		病院	既存	病 Q114
96	リハビリテーション医療を今後充実させたいと考え(内容)		病院	既存	病 Q115
97	今後充実させたいと考えているリハビリテーション料の施設基準の種類	都内の回復期リハビリテーション病棟の数は増加傾向にあるものの、未だ全国平均と比較し少ないため、今後も増床への取組が必要であり、各医療機関におけるリハビリ体制の充実に向けた意向を把握し、今後の施策の推進へ向けた資料とする。	病院	既存	病 Q116
98	今後充実させたいと考えているリハビリテーション専門病床の種類		病院	既存	病 Q117
歯科保健医療					
99	歯科診療所の保有する設備について	歯科診療所が備えている機器等を把握することにより、在宅歯科医療や障害者歯科医療への対応状況を把握し、課題や施策の方向性を明らかにする。	歯科診療所	既存	歯科 Q5
100	歯科診療所の診療領域について	歯科診療所の取組状況(摂食嚥下機能評価、訪問診療、障害者への対応等)を把握することにより、課題や施策の方向性を明らかにする。	歯科診療所	既存	歯科 Q10
101	歯科診療所の受入可能な患者について	歯科診療所の取組状況(他の医療機関との連携)を把握することにより、課題や施策の方向性を明らかにする。	歯科診療所	既存	歯科 Q12, 13, 14
102	地域における歯科診療機能について	地域における歯科医療資源の状況を把握することにより、課題や施策の方向性を明らかにする。	歯科診療所	既存	歯科 Q16
103	障害者への対応について	歯科診療所における障害者に対する歯科医療提供状況を把握することにより、課題や施策の方向性を明らかにする。	歯科診療所	既存	歯科 Q21

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
104	訪問歯科診療への対応について	歯科診療所における訪問歯科診療の状況を把握することにより、課題や施策の方向性を明らかにする。	歯科診療所	既存	歯科Q22, 23, 24
105	医療連携について	歯科診療所と病院、診療所等との連携の状況を把握することにより、課題や施策の方向性を明らかにする。	歯科診療所	既存	歯科Q25, 26, 27, 28
106	感染症の患者・感染者の歯科診療実績の有無(HIV・AIDS患者)	都では、HIV・AIDS患者が身近な地域で歯科治療を受けられるよう、患者のニーズに適した歯科医療機関を紹介する事業を実施しており、治療実績を把握することにより、今後の取組の検討資料とする。	歯科診療所	既存	歯科 Q15
感染症対策					
107	新型インフルエンザ対策について (マニュアル作成の有無 対応訓練実施の有無 研修会の有無)	マニュアルの作成状況、訓練の実施状況、BCPの作成状況等を把握することにより、感染症対策に関する地域の医療資源を把握し、地域ごとの感染症の医療体制の検討に活用する。 また、都は医療機関を対象とした新型インフルエンザ対策の研修事業を実施しているが、BCPの作成支援を研修のテーマに設定している。 各医療機関においてBCPの作成がどれだけ進んでいるかを把握し、今後の研修内容の検討資料とする。	病院・診療所	既存	病Q 118 診Q 42
108	感染症法上の入院勧告が必要な時期に、新型インフルエンザを疑った場合の対応(東京感染症アラート)方法についての認識		病院	既存	病 Q119
109	新型インフルエンザ事業継続計画(BCP)を策定の有無。		病院・診療所	既存	病 Q120 診 Q43
110	策定がない場合の理由		病院・診療所	既存	病 Q121 診 Q44
111	感染症の患者・感染者の歯科診療実績の有無(HIV・AIDS患者)	都では、HIV・AIDS患者が身近な地域で歯科治療を受けられるよう、患者のニーズに適した歯科医療機関を紹介する事業を実施しており、治療実績を把握することにより、今後の取組の検討資料とする。	歯科診療所	既存	歯科 Q15 再掲 (No. 106参照)
アレルギー疾患					
112	各学会のアレルギー疾患診療ガイドラインに準ずる標準的治療の実施の有無 ・食物経口負荷試験、アレルギー免疫療法(スギ花粉症、ダニアレルギー)の実施の可否	平成27年12月に施行された「アレルギー疾患対策基本法」に基づく『アレルギー疾患医療の均てん化の促進(法第16、18条)』を踏まえ、アレルギー疾患に係る治療の実施状況を把握する。	病院・診療所	新規	—

No.	調査内容	調査理由	調査対象	既存・新規追加	前回の設問番号 (既存の場合)等 (※2)
医療情報等その他					
113	レセプト電算処理の実施状況	医療機関のICT化に係る基本的な指標として把握し、今後のICT関連施策の検討に活用する。	病院・診療所	既存	病 診 Q122 Q46
114	オーダーリングシステムの導入状況		病院	既存	病 診 Q123
115	電子カルテシステムの導入状況		病院・診療所	既存	病 診 Q124 Q47
116	外国人患者の診療実績	医療機関における外国人患者対応の取組について把握し、今後の外国人患者への医療提供体制の検討に活用する。	病院・診療所・ 歯科診療所	新規	—
117	外国人患者の受入体制整備		病院・診療所・ 歯科診療所	新規	—
118	ひまわりの医療関係者メニューの使用状況	医療機関のひまわりの利用状況を把握し、システム改修に反映させる。	病院・診療所	既存	病 診 Q126 Q49 再掲 (No. 77参照)
119	診療所の他の医療機関への紹介状況	地域医療介護総合確保基金「東京都地域医療連携ICTシステム整備支援事業」の事業目標。	診療所	既存	診 Q41
120	ひまわりの医療関係者メニューの充実させるべき項目	医療機関のひまわりの利用項目の希望を把握し、システム改修に反映させる。	病院・診療所	既存	病 診 Q127 Q50 再掲 (No. 78参照)